

# 直近の医療提供体制

(※入院患者・重症者の使用率は4月19日時点（福岡の重症者、京都・兵庫の入院患者・重症者は4月18日時点）、宿泊施設の使用率は4月14日時点の数値)

	入院患者の 病床使用率(※1)	うち重症者の 病床使用率(※1)	宿泊施設の 使用率(※1)		入院患者の 病床使用率(※1)	うち重症者の 病床使用率(※1)	宿泊施設の 使用率(※1)
宮城	43.8%↘(※2) (197/450) (※3)	29.2%↗(※2) (19/65) (※3)	39.4% (355/900)	京都	53.6%↗ (250/466)	24.4%↗ (21/86)	19.3% (160/826)
埼玉	31.7%↗ (472/1491)	21.9%↗ (34/155)	23.2% (334/1436)	大阪	81.4%↗ (1657/2035)	80.0%↗ (371/464)	32.7% (790/2416)
千葉	25.4%↗ (346/1361)	13.0%↘ (12/92)	20.6% (199/968)	兵庫	79.6%↗ (668/839)	69.8%↗ (81/116)	45.8% (465/1015)
東京	30.3%↗ (1532/5048)	32.5%↘(※4) (333/1024)	35.0% (1058/3020)	奈良	73.2%↗ (282/385)	77.0%↗ (23/30)	64.4% (152/236)
神奈川	21.6%↘ (386/1790)	13.6%↘ (27/199)	19.0% (244/1282)	福岡	32.0%↗ (257/802)	10.8%↗ (12/111)	14.9% (207/1387)
愛知	32.0%↗ (389/1215)	9.5%↗ (12/126)	20.8% (270/1300)	沖縄	82.6%↘ (419/507)	69.8%↗ (44/63)	33.7% (139/413)

- ※1 最終フェーズにおける確保病床・確保居室に占める入院又は療養を必要とする者の割合
- ※2 病床使用率の横の矢印は、4月14日時点の都道府県公表の数値と比較して上昇していれば、低下していればを記載
- ※3 最終フェーズにおける確保想定病床
- ※4 東京都の重症者数333（4月19日時点）は国基準による集計値。東京都の基準によれば、4月19日時点の重症病室使用率は14.2%（47人/332床）

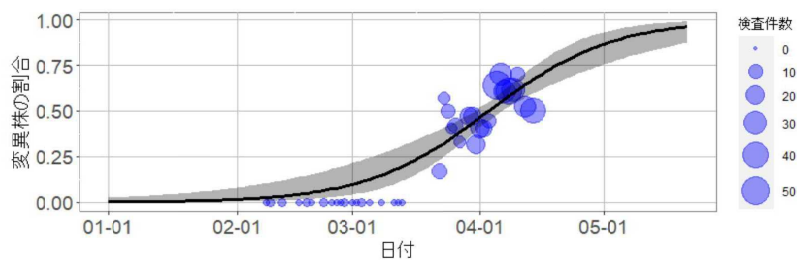
【参考資料】

※厚生労働省アドバイザーボード  
4/20開催

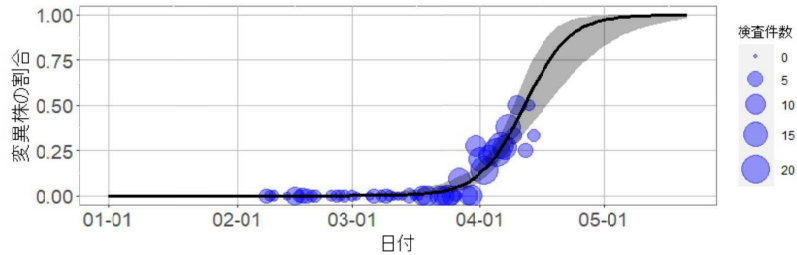
## SARS-CoV-2陽性検体に占める501Y変異の割合：4月19日時点



愛知  
N\*=210/422



沖縄  
N=41/308



\*501Y変異検出数/501Y-PCRスクリーニング件数

データは民間検査会社（3社）の501Y-PCRスクリーニング検査の結果を用いた。原則的に各社のSARS-CoV-2陽性検体は全て501Y-PCR検査が実施された。図中の円の中心は日ごとの501Y変異割合の点推定値、円の大きさは日ごとの501Y-PCR検査件数を表す。推定に際しては、最終的にすべてのウイルスが501Y変異を有するウイルスに置き換わることを前提としている。また推定値には不確実性があり（図中では95%信頼区間をグレーで示している）、今後、スクリーニング件数が増えることで値が変化することがある。